

反転パターン

トレーダーは絶えず、「このトレンドは続くだろうか？」と自問しています。あるトレンドが終わり、以前のトレンドに逆行したトレードをする時期になったかどうか判断するのは困難です。トレンドが反転し、反対方向に動き始めるかどうかを知ることは決してできません。しかし、経験による推測を行うことはできます。反転パターンは、いつトレンドが反転し、新しいトレンドが始まるかどうか、またどの程度、反対方向へ変動しそうかという前もったサインを与えてくれます。もちろん、反転パターン絶対確実ではありませんが、成功する公算を大きくしてくれます。少し時間をかけて、以下の価格反転パターンに慣れてください。



三尊型（ヘッド・アンド・ショルダー・トップ）

三尊型は、値動きがレジスタンスラインに当たり（第一のショルダーを形成）、それから第一のレジスタンスラインを突破し、より高いレジスタンスラインに当たり（ヘッドを形成）、それから再び第一のレジスタンスラインに当たる（第二のショルダーを形成）時に形成される反転パターンです。

三尊型は、弱気の反転パターンで、逆三尊型は強気の反転パターンです。これまでのトレンドが上向き傾向の時は、三尊型を形成します。下向き傾向の時は、逆三尊型を形成します。三尊型 / 逆三尊型は通常、長期にわたって形成されます。

値動きが三尊型形から抜け出た後でそこまで下落すると予想される価格、または逆三尊型形から抜け出た後でそこまで上昇と予想される価格。株式や証券CFDの価格が動くときと予測される幅は、ヘッドとネックラインの間の幅相当します。



逆三尊型のターゲット

三尊型のターゲットの計算式は以下のようになります。

$$T = N - (H - N),$$

T - ターゲット

N - ネックライン

H - ヘッド（高値）

逆三尊型 (ヘッド・アンド・ショルダー・ボト)

逆三尊型は、値動きがサポートラインに当たり（第一のショルダーを形成）、それから第一のサポートラインを突破し、より低いサポートラインに当たり（ヘッドを形成）、それから再び第一のサポートラインに当たる（第二のショルダーを形成）時に形成される反転パターンです。

三尊型は、弱気の反転パターンで、逆三尊型は強気の反転パターンです。これまでのトレンドが上向き傾向の時は、三尊型を形成します。下向き傾向の時は、逆三尊型を形成します。三尊型 / 逆三尊型は通常、長期にわたって形成されます。



値動きが三尊型形から抜け出た後でそこまで下落すると予想される価格、または逆三尊型形から抜け出た後でそこまで上昇と予想される価格。株式や証券CFDの価格が動くときと予測される幅は、ヘッドとネックラインの間の幅相当します。

逆三尊型のターゲット

逆三尊型のターゲットの計算式は以下のようになります。

$$T = N + (N - H),$$

T - ターゲット

N - ネックライン

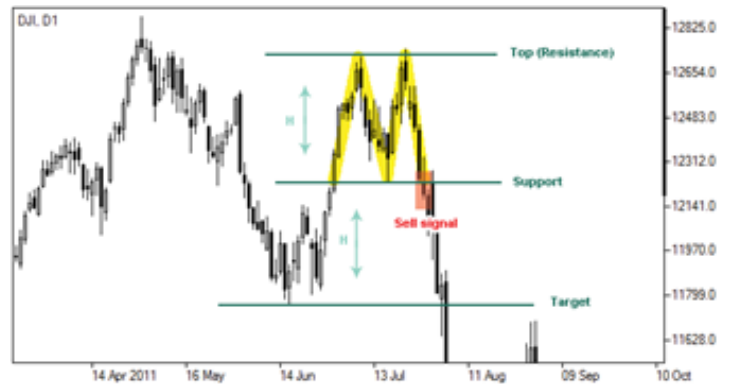
H - ヘッド (高値)

ダブルトップ（二重天井）

ダブルトップ（二重天井）とは、値動きが反転し、反対方向へ動く前に株式や証券CFDの価格がサポートラインまたはレジスタンスラインに2回当たる時に形成される反転パターンのことです。

これまでのトレンドが上向き傾向の時は、ダブルトップを形成します。ダブルトップは通常、長期にわたって形成されます。

株式や証券CFDの価格がダブルトップ形から抜け出た後でそこまで下落すると予想される価格、またはダブルボトム形から抜け出た後でそこまで上昇すると予想される価格。株式または証券CFDが動く予測される幅は、サポートラインとレジスタンスラインの間の幅に相当します。



逆三尊型のターゲット

ダブルトップのターゲットの計算式は以下のようになります。

$$T = S - H,$$

T – ターゲット

S – サポートライン

H – 支持線と抵抗線の間差

ダブルボトム (二重底)

ダブルボトム (二重底)とは、値動きが反転し、反対方向へ動く前に株式や証券CFDの価格がサポートラインまたはレジスタンスラインに2回当たる時に形成される反転パターンです。ダブルトップは弱気の反転パターンで、ダブルボトムは強気の反転パターンです。

これまでのトレンドが下向き傾向の時は、ダブルボトムを形成します。ボトムは通常、長期にわたって形成されます。

株式や証券CFDの価格がダブルトップ形から抜け出た後でそこまで下落すると予想される価格、またはダブルボトム形から抜け出た後でそこまで上昇すると予想される価格。株式または証券CFDが動くと予測される幅は、サポートラインとレジスタンスラインの間の幅に相当します。



逆三尊型のターゲット

ダブルボトムのターゲットの計算式は以下のようです。

$$T = R + H,$$

T - ターゲット

S - サポートライン

H - 支持線と抵抗線の間の差

Triple Top

トリプルトップは、株式や証券CFDの値動きが反転し、反対方向へ動く前にサポートラインまたはレジスタンスラインに3回当たる時に形成される反転パターンです。トリプルトップは弱気の反転パターンです。

これまでのトレンドが上向き傾向の時は、トリプルトップを形成します。トリプルトップの形成は通常、長期間です。

値動きがトリプルトップ形から抜け出た後でそこまで下落すると予想される価格。株式や証券CFDの価格が動くときと予測される幅は、サポートラインとレジスタンスラインの間の幅に相当します。



逆三尊型のターゲット

トリプルトップのターゲットの計算式は以下のようになります。

$$T = S - H,$$

T - ターゲット

S - サポートライン

H - 支持線と抵抗線との差

Triple Bottom

トリプルボトムは、株式や証券CFDの値動きが反転し、反対方向へ動く前にサポートラインまたはレジスタンスラインに3回当たる時に形成される反転パターンです。トリプルボトムは強気の反転パターンです。

これまでのトレンドが下向き傾向の時は、トリプルボトムを形成します。トリプルボトムの形成は通常、長期間です。

値動きがトリプルトップ形から抜け出た後でそこまで下落すると予想される価格。株式や証券CFDの価格が動くときと予測される幅は、サポートラインとレジスタンスラインの間の幅に相当します。



逆三尊型のターゲット

トリプルボトムのターゲットの計算式は以下のようになります。

$$T = R + H,$$

T – ターゲット

S – サポートライン

H – 支持線と抵抗線の間の差

Forex Diamond

ダイヤモンドは、値動きがレジスタンスラインに当たり、それから第一のレジスタンスラインを突破し、より高いレジスタンスラインに当たり、それから再び第一のレジスタンスラインに当たる時に形成される反転パターンです。

ダイヤモンドは、弱気の反転パターンです。これまでのトレンドが上向き傾向の時は、ダイヤモンドを形成します。下向き傾向の時は、ダイヤモンドの形成も可能になります。ダイヤモンドは、長期にわたって形成されます。



値動きがダイヤモンド形から抜け出た後でそこまで下落すると予想される価格、またはダイヤモンド形から抜け出た後でそこまで上昇と予想される価格。

逆三尊型のターゲット

ダイヤモンドのターゲットの計算式は以下のようになります。

$$T = BP - H,$$

T - ターゲット

BP - サポートの破壊レベル

H - 支持線と抵抗線の間差